# 病害虫調查 参考所見

【JA·支店名】

受領日 年 月 日 月 報告日 年 В 【担当者】 様

【営業所】

## 1. 診断物の情報

栽培者氏名	00 0	00 様				
連絡先	090-1234-5678					
作物名	ミニトマト					
品種名/台木	TY千果	スパイク23				
栽培地	〇〇町					
播種日						
定植日	8月15日頃					
初発時期	4月上旬					
発生割合•特徴	数本 かたまって					
被害の広がり	広がっている感じがある					
栽培概要	施設栽培	ココ培地				
最近の薬剤履歴	3/中 〇〇乳	剤,△△水和剤				

#### 【症状】

【担当者】

コナジラミ中~多発生圃場。 果実の着色がまだらなのは、黄化病な のか、コナジラミの吸汁の影響か。 葉と果実の持ち込み 黄化病(ToCV)検査依頼

## 2. 診断結果

診断方式	病害虫診断基本料金·顕微鏡観察	+	黄化症	夷(ToC)	V)検査(PCR法	+			
区分					コメント	※症状・		であり、他の可能性を	否定するものでは
					PCR法に。 性判定で		化病(ToC	V)検査の	結果、陰

病害虫名

黄化病(ToCV) 陰性 <u>斑点細菌病の可能性があり</u> ます。

持ち込まれた検体は、黄化病に感染している 可能性は低いと思われます。

多湿条件で培養した結果、葉の黄化が広が り、細菌が検出しました。症状と合わせて斑 点細菌病の可能性があります。

果実の着色不良ですが、同方向に着色不良 が見られることから直射日光による影響や温 度など環境の影響が考えられ、病気の可能 性は低いと考えられました。

### 対策の所見



被害葉は伝染源になりますので、圃場の外へ適切に除去して下さい。

斑点細菌病の場合は、○○水和剤1000倍(収穫前日まで/5回以内/斑点細菌病登 録)や、△△フロアブル1000~2000倍(−/−回/斑点細菌病登録)などを散布すると有 効と思われます。

樹勢回復に〇〇剤1000倍(上記薬剤とは混用不可)の散布がおすすめです。 コナジラミ類の防除には、口口乳剤1.500倍(収穫前日まで/2回以内/マルハナバチ影響 日数1日)、〇〇水和剤2500倍(収穫前日まで/2回以内/マルハナバチ影響日数1~3 日)、◇◇フロアブル2000~4000倍(収穫前日まで/2回以内/マルハナバチ影響日数1日) などを散布すると有効と思われます。

イノチオホールディングス株式会社 イノチオ中央農業研究所 研究開発部 診断分析課

本調査は生物・実体顕微鏡観察での確認及び症状からの類推による1つの意見として提供 するものです。県農業改良普及センターや農業総合試験場等による診断を受けるようにお勧 めします。また、本調査は持ち込まれた検体についての調査であり、被害圃場全体の調査結 果ではありません。農作物は圃場環境や管理状況によって生育に大きな影響を受けますの 電話番号:0531-36-2011で、提示した対策のみでは被害が軽減あるいは回避されない場合も有ります。

https://www.bunseki.inochio.co.jp 本調査における補償などは致しかねますのでご了承ください。